



▲訓練時の体温測定の様子



▲訓練時の個別受付の様子

避難所では、避難者の健康状態を確認するため、避難所の入口の外に受付を設置し、体温測定を行います。受付に並ぶ際には、2 m 程度の間隔を空けて並んでください。

また、発熱や咳、強い倦怠感の症状をお持ちの方は、避難所の受付で係員にその旨を伝えてください。

～避難所に入る前に～

避難所では、多くの避難者と集団生活を送る可能性があります。このような状況下では、適切な対処方法をきちんと理解し、事前に対策を徹底することにより、感染拡大を防止することができます。

コロナ禍における 避難所での過ごし方

～避難所に入ってから～

① 3密（密閉・密集・密接）を避ける

- できるだけ換気を心がける。
- 他人と2 m 程度の距離をあける。
- 人と向かい合わせにならないようにする。
- 密接した状態での会話は避ける。

窓やドアを開け
こまめに換気を！



他の人と
十分な距離を取る！



② マスクの着用、咳エチケットの徹底を

マスクをしていない場合は、ティッシュ・ハンカチなどで口・鼻を覆い、とっさの時は口・鼻を袖などで覆うようにしましょう。



④ 毎日の体調チェック・身の回りの整理整頓、清掃に努め、清潔を保つ

■ こまめに体調チェックを行い、発熱や咳などの体調異常を早期に発見しましょう。

■ 身の回りを清潔に保ち、ウイルス感染予防をしましょう。



③ こまめな手洗い・アルコール消毒を

■ 食事前やトイレに行った後などは、必ず手洗いやアルコール消毒をしましょう。

■ 断水時や石けん・アルコール消毒液がない場合は、ウェットティッシュなどでふきましましょう。

特集 コロナ禍における 防災・減災対策



(写真) 令和2年11月21日(土)に、町では、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した避難所の開設・運営訓練を杉戸第三小学校体育館（大字堤根）で行いました。



▲段ボールベッド



▲パーティションと避難所用トイレ



▲エアーマット



▲非接触式電子温度計とフェイスシールド

今年の3月11日(木)で、東日本大震災から10年が経過します。この10年間に熊本地震や北海道胆振東部地震など、全国各地で大規模な地震が発生し、大きな被害をもたらしました。また、最近では線状降水帯の発生による短時間での大雨や台風などが頻発しています。「自分たちは大丈夫」と、決して他人事とは言い切れない状況です。

自然の脅威である「地震」「風水害」を防ぐことはできませんが、私たちは普段から「心がまえ」と「備え」をすることはできます。

日頃から「もしも」に備えて、コロナ禍における避難方法、備蓄、災害時の情報収集について、改めて確認しておきましょう。

問合せ ぐらし安全課
消防・防災担当 内線 282